

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情（校区内の実情）	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
助け合い支え合う緑豊かなまちづくり	社会的弱者の立場を守るまち	高齢者	高齢者の孤立防止と地域活動への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者世帯の割合が熊本市よりも高い（13.3%） ・居住形態は持ち家（一戸建て）比率が高い（83.3%） ・居住年数は10年未満が2割近くを占め、人口流動が認められる ・ご近所付き合い程度は“家族同様の人間関係”を作っているのは5%に満たない 	<ul style="list-style-type: none"> ・新旧・世代間隔たりを解消する施策の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で集える場所づくりの検討 ・壺川校区社会福祉活動推進委員組織の充実 ・“すすらん会”（町内老人会）の水平展開の推進
			ライフサイクルへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な交通手段はマイカー利用が半数近くになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納後のライフプランの提唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル自治体の把握・学習・推進
		認知症・障がい者	認知症・障がい者への理解、認識促進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対して関心の高い人は多い ・認知症認定者への対応方法がわからない人も多い ・障がい者への正しい理解に対する関心が高い人が多い ・障がい者への対応方法がわからない人も多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉パトロールの実施 ・持続可能な地域コミュニティ形成を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市、市社協、校区社協、ささえりあとの連携強化
	次代を託す子ども達を育む	子育て	子ども・子育て家庭の見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時における児童の見守りと安全確保を求める声が多い ・就学前の子どもと親御さんの居場所づくりを求める声がある ・親子で参加できる地域行事の開催を望む声がある ・児童委員（主任児童委員）の周知や相談機関の把握を求める声がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・「這えば立て、立てば歩め」の親心を共有できる地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区PTA・防犯協会等との連携強化 ・子育てサークルとの連携強化 ・“オアシス”挨拶運動を展開
	活力ある地域をめざして	地域住民	行動変容に伴う各種問題への解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる生活への影響があった人が過半数を占めている ・新型コロナウイルスによる影響を受けた人のうち、精神面への影響を挙げた人が過半数を占めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・守りの姿勢から反転攻勢の姿勢へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握、問題究明に向けた検討
	地域活動への強化解と推進体制	その他	ボランティア組織体の強化につとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・校区社会福祉協議会を知らない人が45.1%を占めている ・社協の名称を知っている人のうち活動内容を知らない人が49.5%を占めている ・地域担当民生委員を知らない人が3割を超えている ・町内会未加入の人が1割近く存在する ・ボランティア組織への依存度が増している ・各種地域団体・組織の役員が高齢化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状打破に向けてチャレンジ精神を発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・あまねく身近な存在として認められる組織体を目指し活動していく